

**IIJグループ、「IPv6 Summit in Japan 2002」をIPv6マルチキャストでストリーミング配信**

株式会社インターネットイニシアティブ(以下 IIJ、本社 :東京都千代田区、代表取締役社長 鈴木 幸一) および株式会社アイアイジェイメディアコミュニケーションズ(以下 IIJ-MC)は、パシフィコ横浜で開催される「Global IPv6 Summit in Japan 2002」の様子の一部をIPv6 マルチキャストでストリーミング配信いたします。配信対象は2002年12月19日の全プログラムです。本イベントは、サミット実行委員会および NSPIX6<sup>(\*)</sup>に接続している各ISPとの協業によって実施され、一般ユーザ宅までIPv6 マルチキャスト配信される国内初のイベントとなります。

<sup>(\*)</sup> IPv6 に特化した相互接続拠点 (X: Internet eXchange point)

本ストリーミング配信に際し、IIJ および IIJ-MC は、IPv6 対応データセンター環境上でのIPv6 マルチキャストサーバの構築・運用、および各ISPへのデータ配信を行います。ビデオ配信サーバソフトウェアは、マイクロソフト社のIPv6 対応プラットフォーム「Windows Media™ 9 Series」評価版を使用します。

中継の様を受信するには、IIJ のIPv6 接続サービス(トンネル型)、IIJ のIPv6 マルチキャスト対応ルータ「SEIL/neu 2FE (IPv6 マルチキャスト特別仕様版)」、WindowsXP+SP1 とストリーミングアプリケーション「Windows Media 9」、の3点が必要となります<sup>(\*)</sup>。

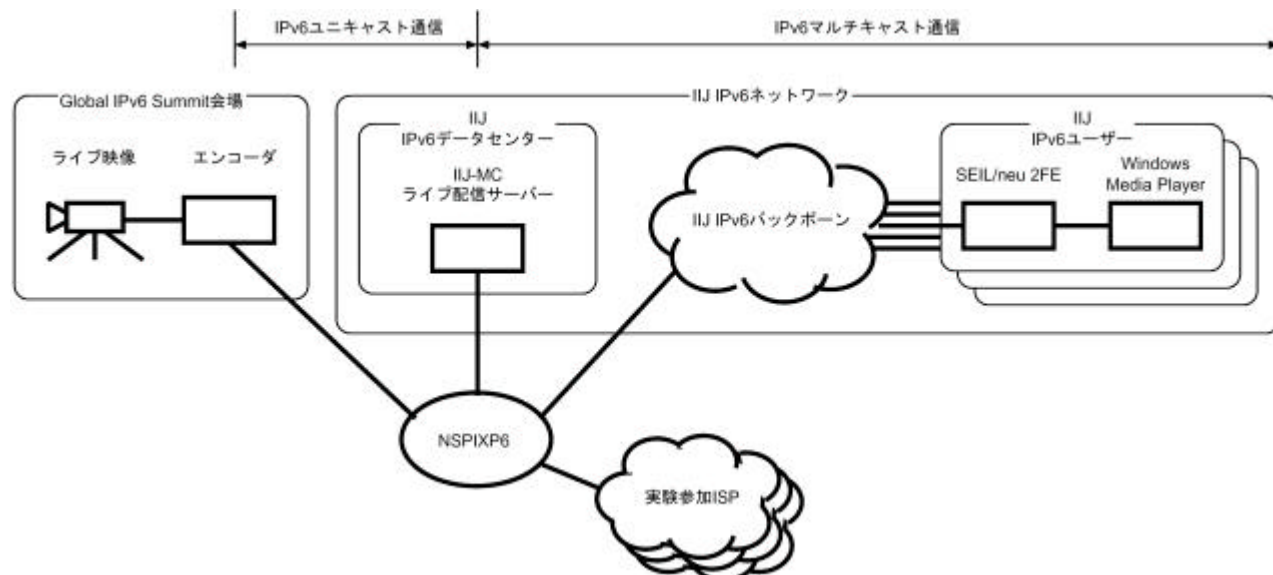
<sup>(\*)</sup> IIJ から直接ストリーミングデータを受信する場合。詳細については、<http://www.iij.ad.jp/IPv6/summit2002/> をご参照ください。尚、他ISPをご利用の場合の環境については、ご契約しているISPに直接お問い合わせください。

IPv6 とマルチキャスト技術の組み合わせは、ユビキタス環境など新しいネットワーク環境においてネットワーク・リソースの制限(帯域、配信サーバの負荷)を軽減する技術として注目を集めています。IIJ グループは、引き続きIPv6 技術のさまざまな可能性を積極的に切り拓いていくことにより、IPv6 の更なる普及促進を図ります。

**【Global IPv6 Summit in Japan 2002 中継概要】**

日時	2002年12月19日(日)9:45~
場所	パシフィコ横浜
ウェブサイト	<a href="http://www.jp.ipv6forum.com/ja/multicast.html">http://www.jp.ipv6forum.com/ja/multicast.html</a>

**配信構成**



## **IIJ-MC について**

株式会社アイアイジェイメディアコミュニケーションズは、ウェブ関連のコンテンツ制作・サーバ構築など、インターネット・メディア上での情報発信関連事業を行っています。なかでも1995年、日本初となるインターネット中継の商用サービスを立ち上げて以来、九州・沖縄サミット議長国記者会見の中継など、インターネット・ストリーミング分野において数々の大規模プロジェクトを手がけています。

## **Global IPv6 Summit in Japan 2002 について**

『IPv6 普及の展望』、『ネットワーク家電におけるIPv6 利用』、『IPv6 と情報産業の未来』など、普及期に入ったIPv6 を多角的な視点でとり上げ、ディスカッションを行うカンファレンス。本カンファレンスの日本開催は、2000年、2001年に引き続き3回目。URL：<http://www.jp.ipv6forum.com/>

## **報道関係問合せ先**

IIJグループ 広報室 樋笠 (ひがさ)

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311 URL: <http://www.ij.ad.jp/> E-mail: [press@ij.ad.jp](mailto:press@ij.ad.jp)